

談話室

微分…積分…???

タレント 中島 史恵

profile

長野県出身。オスカープロモーション所属。「シェイプUPガールズ」のメンバーとして、バラエティ番組など多数出演。11月6～9日に全労災ホール・スペースゼロで、劇団ストレイドックの公演「竜二～お父さんの遺した映画～」に舞台初出演予定。



—算数や数学は得意でしたか？

苦手でした。小学生の頃、先生に「質問ないか」と言われたときに質問ができなくて。特に恥ずかしがり屋というわけではなかったのですが、「わからない」ということに関しての恥ずかしさがあって先生には聞けませんでした。そこで、算数が得意な友達に教えてもらって、彼女のおかげで克服できたという覚えがありますね。先生より、友達から教わった印象があります。微分・積分とかになるとさっぱりわからなくなってしまいました（笑）。数学より、どちらかという社会、歴史などが得意です。

数学について言わせていただければ、身近なこととの接点をもっと見つかると、おもしろくなると思います。英語は英会話の勉強になるとか、国語は本を読むうえで人間関係でも役立つとか、今後の勉強にもつながりますけど、数学はあまり生活に根付いたものではないというか……例えば、円周率の3.14を知っていても、あまり実生活の中でプラスにはならないし、買い物をするときに、何割引だとか、おつりをどうこうとか、そんな計算ぐらいでしか使いませんよね。そんなところが、数学をより勉強しようとするきっかけを少なくしているんじゃないのかと思います。

—数学の先生のイメージは？

数学の先生は、眼鏡をかけていて細くて神経質そうな、そんなイメージですね。でも、私はどちらかという運動・文系タイプなので、だからこそ自分の足りない部分への憧れがあるんです。数学ができる人というか、理数系の人が結構好きなんですよ。クールで神経質そうな、いわゆる先生っぽい人に憧れてしまいます（笑）。

—高校時代の思い出は？

部活が楽しかったです。バスケットボール部だったんです。でも大学へは行きたいと思っていたので、部活をしながら勉強もちょっとして。あの頃は一番が部活だったから、早く自分の「これだ」という

ものを見つけてやれるといいな、とか思ったりしましたね。

今の子は情報が多いし、「個性」が大切にされる時代だから、自分のやりたいことを若いうちから見つけることができますよね。私たちのときは、みんなでバランスよく、均一的に、というようなところがありましたから……。

年を取ると思いますよね、もっとしっかり勉強しておけばよかったかなと。学校にいたときは、勉強することが、将来の社会生活に生きてくるという意味がよくわからなかったので、覚えることだけでいっぱいになっていました。社会に出ると、なぜそうなるのかというような理由をすごく求められるので、学生の頃よりも、今が一番勉強したいという気持ちですね。

—仕事上で数学が役立ったことはありますか？

「数学」ではないですけど……、地元の短大を卒業して、農協の信連という銀行に勤めたことがあるんです。そのときに、銀行なのでそろばんがあったんですよ。そろばんはできないと言ったんですけど、「まあ、大丈夫だから」と言われて……。結構大きい単位で計算して、それがすごく大変でした。最後に課長に合わせてもらうんですけど、間違っていると本当にガッカリしました。そろばんはやっておけばよかったなと思います。

—将来の夢は？

この仕事をさせてもらって、自分の中でも今、勉強をしているところなんです。興味があるものが多々あり、自分の特に好きなお仕事というものがまだわからないんです。早く何か自分の「これだ」というものを見つけないですかね。そして勉強したいです。最近感じるのは、知りたいと思って勉強するときが一番おもしろいということですね。「私の探しているものはどこにあるんだろう」と、今それを一生懸命探しているところです。